

1120 | 絵画 III

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

三浦明範教授、長沢秀之教授、赤塚祐二教授、遠藤彰子教授、袴田京太郎教授、水上泰財教授、樺山祐和教授、丸山直文教授、小林孝亘教授、阿部英幸講師、伊藤仁講師、大家泰仁講師、加藤健二講師、金子善明講師、佐々木敏講師、清水健太郎講師、瀬島匠講師、松村繁講師、山本明比古講師、吉川民仁講師

授業の概要と目標

A 系、B 系選択。

「自然と生命」をテーマに制作する。対象をじっくりと観察し、そこで得られた発見を基に制作を進めることが大切である。私達は自然を外側から観て描いているのではなく、自然の中にあり、その生動するリズムに反応している。

通信授業では、見る、感じる、考える、行う、といったことを通して、自分らしさの感じられる、生き生きとした表現を目指す。面接授業では、同じモチーフやテーマに対しての個々の表現の多様性を知ること重要である。

課題の概要

○通信授業課題

〈A 系〉「自然と生命」

1-1 人物（自分も含む）と植物、動物の組み合わせをクロッキーする。

1-2 人物（自分も含む）と植物、動物の組み合わせをデッサンする。

1-3 人物（自分も含む）と植物、動物の組み合わせを油彩で制作する。

〈B 系〉「自然と生命」

1-1 身の回りの自然や生命体を観察し、そこから様々な部分をクロッキー等により造形的要素として取り出す。

1-2 「1-1」で取り出した造形的要素を様々に構成し「1-3」のためのエスキースを制作する。

1-3 「1-2」をもとに平面作品を制作する。

○面接授業課題

〈A 系〉「自然と生命」

1-1 人物（ヌード）と複数の観葉植物を配置し、デッサンをする。B2 画用紙または木炭紙。描画材は鉛筆または木炭等。クロッキー・エスキース複数点、デッサン 1 点提出。

1-2 「1-1」と同じ組み合わせを油彩で制作する。支持体は 30 号キャンパス。

〈B 系〉「自然と生命」

1-1 人体（ヌード）、観葉植物、野外取材等から様々な部分をクロッキー等により造形的要素として抽出し、それらを構成してエスキースを制作する。支持体は自由で 30 号程度のフリーサイズ。描画材は自由でコラージュも可。2～3 点提出。

1-2 エスキースをもとに平面作品を制作する。支持体は自由で 30 号程度。描画材は自由（油彩、アクリル絵具他）。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『絵画Ⅲ～Ⅴ 平成 29 年度』の「絵画Ⅲ」を参照。

教科書『絵画—素材・技法—』の第 1 章「デッサン・油彩」、第 2 章「油彩画の素材・技法と表現」、第 3 章「水性絵具」等を参照。

教科書『絵画—アートとは何か—』の第 1 章「美術の成り立ち」等を参照。

[面接授業]

〈A 系〉	第 1 日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（クロッキー・エスキース）
	第 2 日	午前：制作（デッサン）	午後：制作
	第 3 日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評
	第 4 日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（油彩）
	第 5 日	午前：制作	午後：制作
	第 6 日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

〈B系〉	第1日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（クロッキー）
	第2日	午前：制作	午後：制作
	第3日	午前：制作（エスキース）	午後：制作及び採点・講評
	第4日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（平面作品）
	第5日	午前：制作	午後：制作
	第6日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「絵画Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得していること（絵画コース3年次編入学生を除く）。

[備考] 油絵学科絵画コース3年次必修科目。

「絵画Ⅲ」、「絵画Ⅳ」、「絵画Ⅴ」は、ローマ数字の順に学ぶことで学習効果が上がるように授業内容が設定されている。ただし、スクーリング日程の都合などにより順序通りの受講ができない場合は、受講順序は問わない。

教材等

教科書：『絵画—素材・技法—』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

『絵画—アートとは何か—』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

『複合的表現—絵画からの展開—』（武蔵野美術大学出版局 2005年）

学習指導書：『絵画Ⅲ～Ⅴ 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）